

【総長基調講演】2020年10月28日

～東南アジア地域農学高等教育研究センター(SEARCA)国際フォーラム～

10月28日(水)に、東南アジア地域農学高等教育研究センター(SEARCA)が主催するウェビナー形式による国際フォーラムが開催され、約200名の参加者のもと、松尾総長が基調講演を行いました。SEARCA (Southeast Asian Regional Center for Graduate Study and Research in Agriculture)は、1966年に東南アジア教育大臣機構のもとに設立された非営利組織で、農学分野における大学院教育および研究を発展させるための東南アジア地域センター(所在地:フィリピン)です。この国際フォーラムは、東南アジアにおける農業および農村開発の進歩と変革について多面的な視点より関係者が議論をする場として開催されました。学界、産業界、政府組織からの発表があり、学界からはタイ・カセサート大学 Nakasathien(ナカサティエン)農学部長が、そして日本からは松尾総長の二人が、アカデミアの立場から基調講演をしました。松尾総長からは、東海国立大学機構として名古屋大学が取り組むアジア展開の方向性の具体的な事例を示しました。名古屋大学が推進する国際的活動の一環として、G30国際プログラム(6学部、8研究科で実施)や国際的研究者養成を目指した海外大学(カセサート大学もそのひとつ)との共同学位(ジョイント・ディグリー)プログラムについても言及しました。そして、アジア諸国において、自国を離れずに博士学位が取得でき、本学6研究科が参画している国家中枢人材養成プログラムの実施のためにサテライトキャンパスを6ヶ国に設置していることや、学際的な国際共同研究・教育プログラムを展開するためのプラットフォームである国際熱帯農学ステーションについて説明を行いました。なお、フォーラムの録画は下記のウェブサイトで閲覧できます。

[https://www.facebook.com/seameo.searca/videos/searca-stakeholders-forum/352136729353002/?so=permalink&rv=related\\_videos](https://www.facebook.com/seameo.searca/videos/searca-stakeholders-forum/352136729353002/?so=permalink&rv=related_videos)



フォーラムのポスター



松尾総長によるウェビナー形式の基調講演  
(録画再生画面のスクリーンショット)  
(総長講演の録画再生時間帯は約 2:55-3:11)